

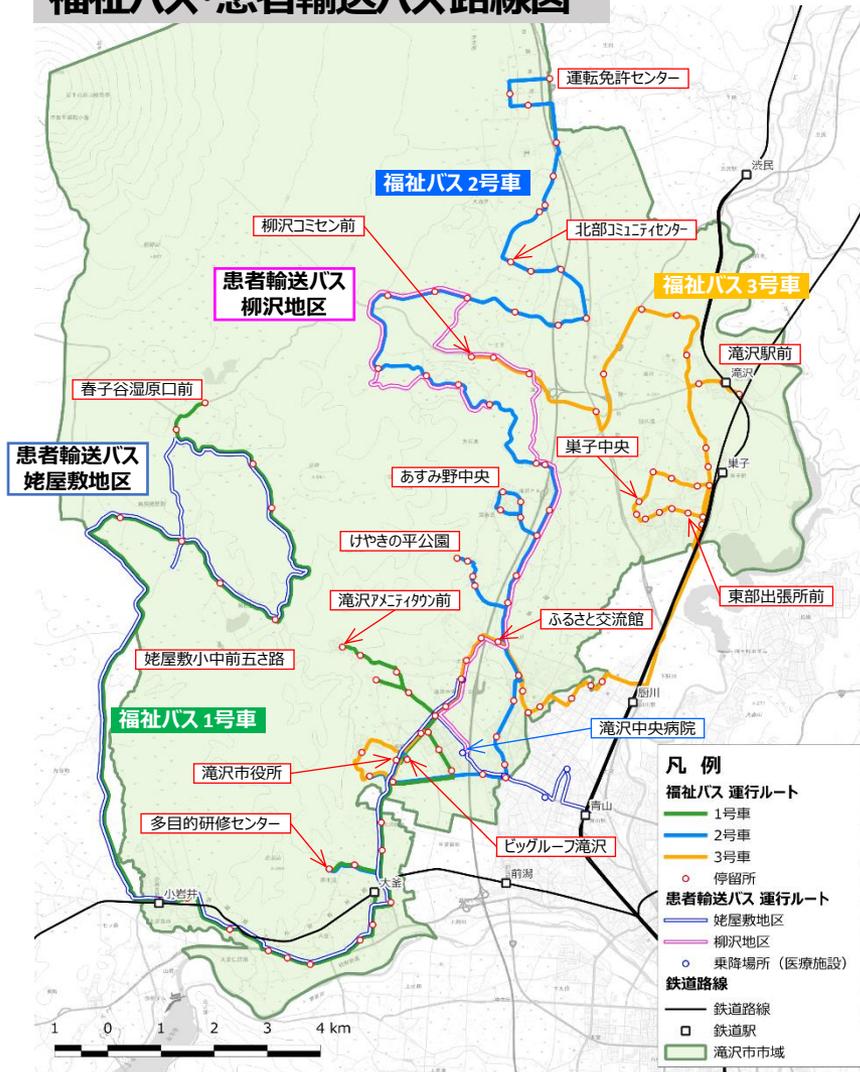
滝沢市コミュニティバスの運行について

令和8年2月12日（木）

第18回滝沢市地域公共交通会議

現状の福祉バス・患者輸送バスの運行概要

福祉バス・患者輸送バス路線図



福祉バス (所管課：高齢福祉課、運行：委託)

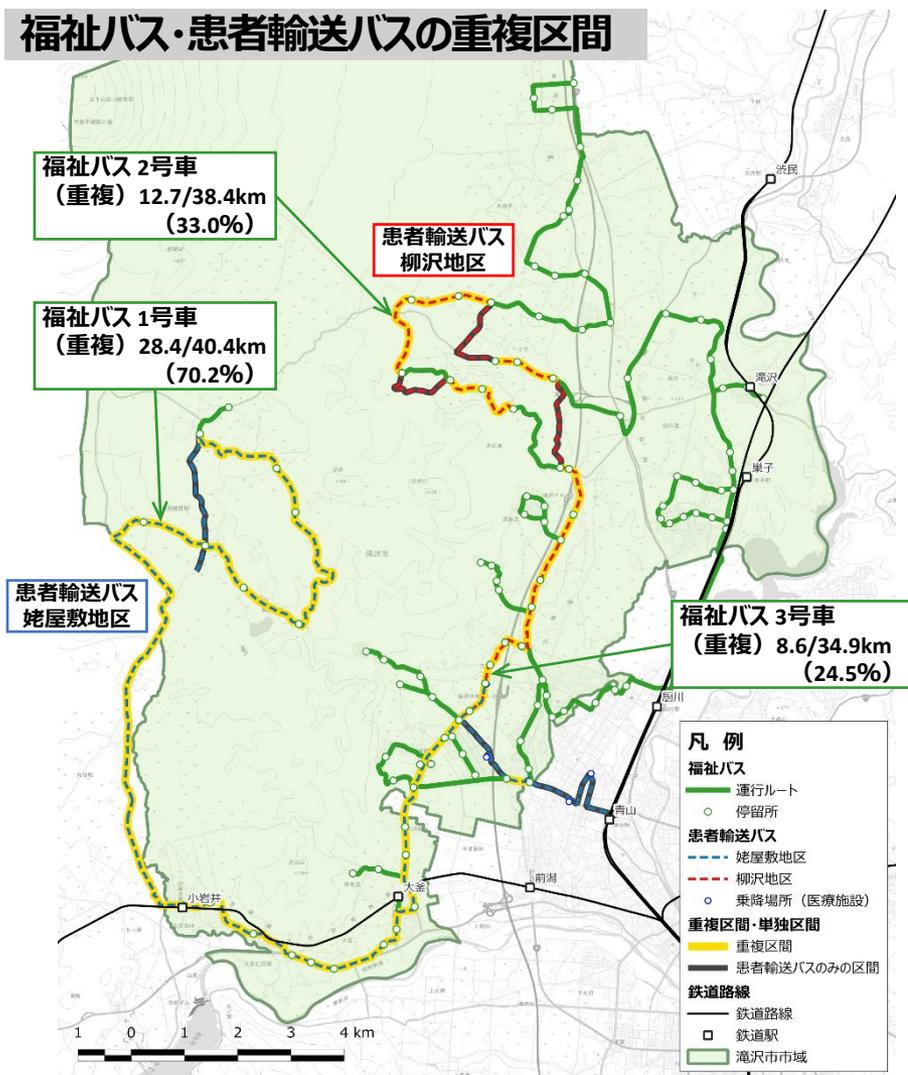
- 運行目的** おもに陸大学への通学手段として利用
利用目的は限定していないため、日常的な通院・買い物等にも利用可能
- 運行範囲** 滝沢市内の各地域から滝沢市役所まで
- 運行日** 毎週月曜日・金曜日 (各1往復)
※祝日、3月を除く
- 運賃** 大人 (中学生以上) 200円
小学生・身体障害者手帳あり100円
小学生未満 無料
- 対象者** どなたでも利用可能
- 道路運送法** 第4条運行

患者輸送バス (所管課：健康づくり課、運行：直営)

- 運行目的** 医療機関がない地区の通院手段として利用
- 運行範囲** 姥屋敷地区・柳沢地区から医療機関まで
- 運行日** 姥屋敷地区：毎週火曜日 (1往復)
柳沢地区：毎週水曜日 (1往復)
- 運賃** 無料 (利用には滝沢市発行の乗車証が必要)
- 対象者** 姥屋敷地区・柳沢地区の居住者で
医療機関の利用者とその介添え人のみ
- 道路運送法** 適用外

福祉バス・患者輸送バスの問題点

福祉バス・患者輸送バスの重複区間



【福祉バスの問題点】

- 利用者数の減少 (R6 : 3,029人、H30比62%)
- 運行ルートが長い (最長1時間34分の所要時間)
- 福祉専用のバスと思われる
- 燃料高騰等の理由により、運行経費が増加

【患者輸送バスの問題点】

- 利用者数の減少 (R6 : 359人、H30比85%)
- 運行地域外の住民との不公平感
- 直営による運行のため、車両やドライバーの確保が難しくければ運行が困難

【2つの交通手段による問題点】

- 同じルートを運行し非効率
- 所管課が異なることにより連携が不十分

【姥屋敷小中学校の統廃合の決定】

- 令和9年4月～姥屋敷小中学校の統合によりスクールバスの運行が必須



福祉バス・患者輸送バス・スクールバスの効率的な運行を検討

地域内交通（フィーダー系統）としての問題点と課題

地域公共交通としての問題点から課題を整理

地域内交通における問題点

- 睦大学への通学需要の減少
鉄道・バス不便地域の多様な移動目的に対応
- 少子高齢化・世帯人員の減少による
公共交通需要の変化
- 中心商業地の開業により移動需要が変化
- 予定しているスクールバスの運行経路が重複
- 既存の交通手段との競合
- 既存の公共交通利用者との不公平感あり
- 福祉バス・患者輸送バスの重複区間が多い
- 運行経路が長大であり所要時間が長い
- 利用者数の低迷
- 分散して居住する地域を運行し、停留所まで遠い
- ドライバーや車両の確保が難しい
- 乗降指定のルールが利用者・乗務員に分かりにくい
- 適正な運賃ではなく持続可能性に問題あり



地域内交通の課題

- 【課題①】
運行効率化や利便性向上に向けた運行ルートの見直しが必要
- 【課題②】
利用目的や移動需要の変化への対応が必要
- 【課題③】
利用圏の拡大や分かりやすい乗降ルールの改善が必要
- 【課題④】
限られた輸送資源を活用した地域内交通の構築が必要
- 【課題⑤】
収支の改善や不公平感を改善し、継続的な運行が可能な運賃体系への見直しが必要

地域内交通（フィーダー系統）の運行の方向性

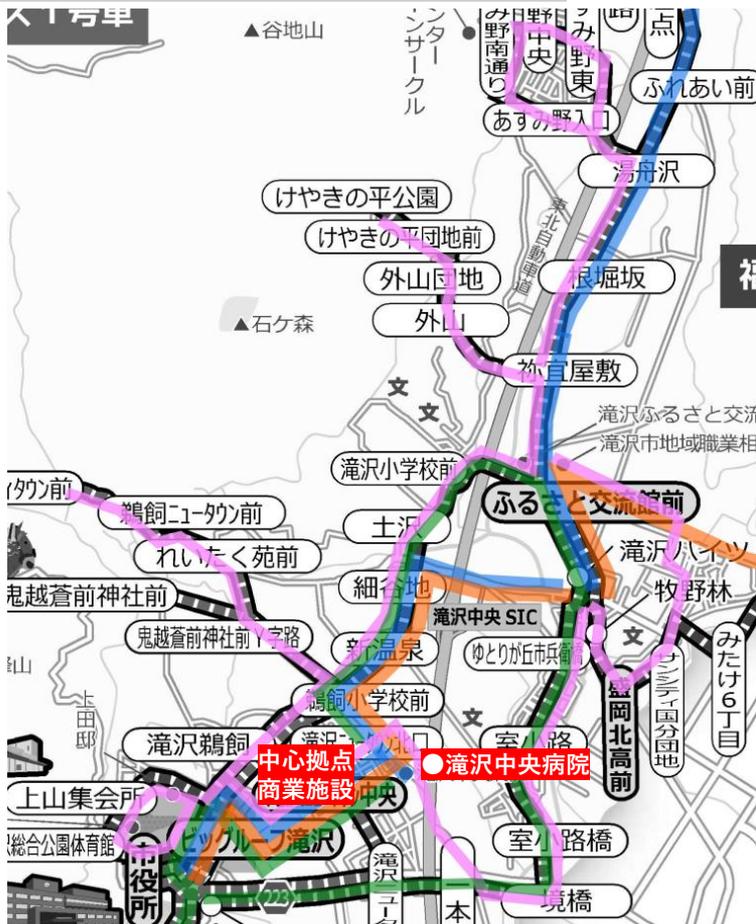
地域公共交通における課題の解決・改善に向けた運行の方向性を検討

地域内交通の課題	現行の地域内交通	見直し後の方向性
【課題①】 運行効率化への対応	【現行①】 福祉バス・患者輸送バス個別の運行、 運行経路が長大であり所要時間が長い	【方向性①】 福祉バス・患者輸送バスの統合、利 用状況に合わせた経路見直しや路線 再編による所要時間短縮（スクールバス との乗合は一般利用者の需要に合致しないため統 合しない）
【課題②】 利用目的・移動需要の 変化への対応	【現行②】 （福祉）陸大学への通学利用 （患者）通院利用に限定	【方向性②】 現行に加え、中心拠点への買い物や 医療機関の利用への対応
【課題③】 利用圏の拡大 ・利用しにくさの改善	【現行③】 （福祉）停留所で乗降・ルールあり （患者）停留所までの移動が困難	【方向性③】 フリー乗降区間の設定 指定乗降ルールの撤廃
【課題④】 限られた輸送資源の活 用	【現行④】 （福祉）路線バス事業者への委託 （患者）直営による運行	【方向性④】 路線バス事業者への委託（地域の輸送 資源として貸切バス・タクシー事業者への委託や自 家用有償旅客運送の導入も検討したが車両の調 達等の課題あり）
【課題⑤】 運行継続に向けた 運賃の見直し	【現行⑤】 （福祉）均一運賃 （患者）登録制により無料	【方向性⑤】 運賃値上げ、ブロック制運賃、ICカー ドでの支払い対応

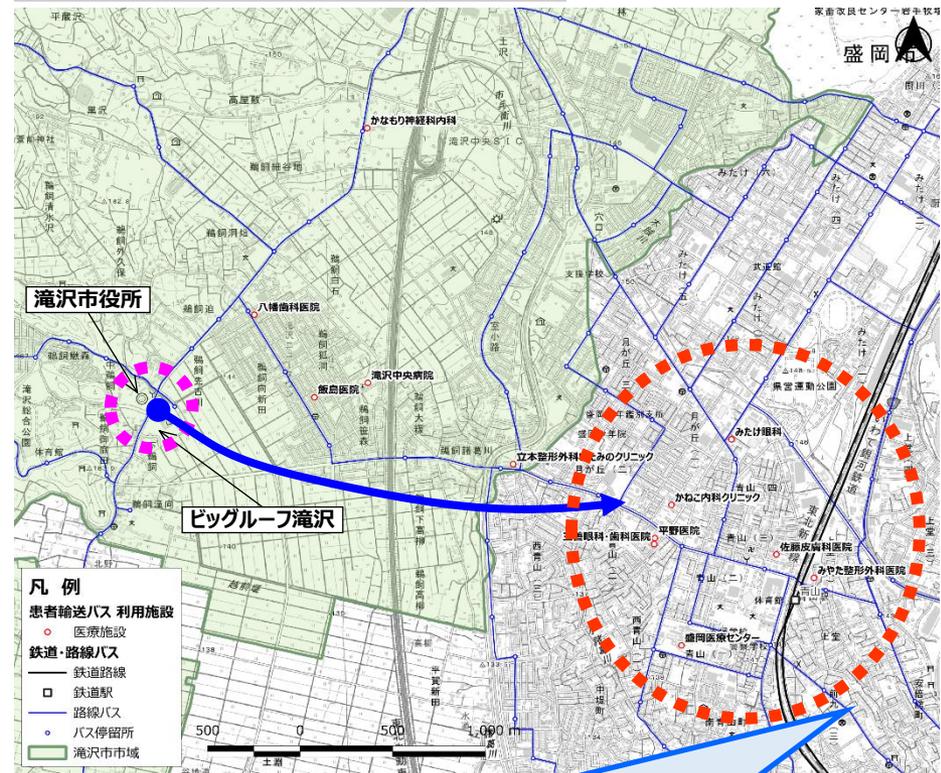
方向性② 買い物や医療機関の利用への対応

陸大学のほか、中心拠点への買い物需要や通院（滝沢中央病院や市内医療機関への経路）等幅広い移動目的に対応。盛岡市への移動はビッグルーフ滝沢からの乗り継ぎにより既存の路線バスを活用。

全路線が滝沢中央病院を新たに経由



盛岡市内（青山町方面）への移動

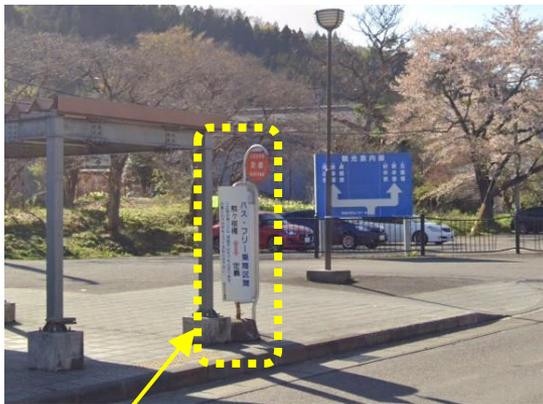


滝沢市役所、ビッグルーフ滝沢からの乗り継ぎ
（1時間に約3便運行中）

方向性③ ルールの見直しによる利便性向上

乗降フリー区間の設定や、指定乗降ルールを見直すことにより、利便性向上と利用圏拡大を図る。(ただし乗降フリー区間と一部の停留所は乗降指定を適用する)

乗降フリー区間のイメージ



▶ 乗降フリー区間の停留所の例
(仙台市交通局定義バス停)

この区間のコミュニティバスは
停留所以外でも停車します。
お乗りの方は手を上げてお知らせください。



バス・フリー乗降区間

▲ 乗客向け

協力願います
○○○間のバスは、旅客の希望により
停留所以外でも停車することがありますので、
ご注意ください。

車間距離保持厳守
バス・フリー乗降区間の運行にご

▲ 通行車両向け

指定乗降ルールの撤廃



方向性④ 限られた輸送資源の活用

路線バス事業者へ運行委託予定（地域の輸送資源として貸切バス・タクシー事業者への委託や自家用有償旅客運送の導入も検討したが車両の調達等の課題あり）。事業者が所有する車両を使用するの運行とするため、車両サイズの変更なし。

方向性⑤ 継続的な運行に向けた適正な運賃負担

持続可能な運行の実現に向け、現行より若干の値上げを行う（中心市街地ゾーンの設定）。なお、運転免許返納者に対する割引制度（期間限定）を導入予定。

鉄道・路線バスの運賃の例（巣子地区から市役所へ）



現状の福祉バスより高額

合計630円

市の財政負担

R6福祉バス運行経費：約17,098千円
運賃収入：約581千円

収支率 約3.4%

福祉バスの利用者へヒアリングを実施したところ、現行運賃200円は安価であるため、継続的な運行を目的とした運賃増額に対して理解を示された。実証運行期間中は無償運行を行い、多くの方に乗車していただき本格運行開始時の利用者の拡大に繋げる。

現行は現金払いのみの対応→ICカードでの支払いも可能。

新コミュニティバスの運行概要

運行開始

令和8年10月1日～実証運行開始

運行ルートについて

- ・現行のルートを踏襲し、各地域から滝沢市役所方面への移動。
- ・中心拠点商業施設から車で10分圏の近・中距離を商圏とした周辺の住宅地・団地を運行する路線（4号車）を新設。

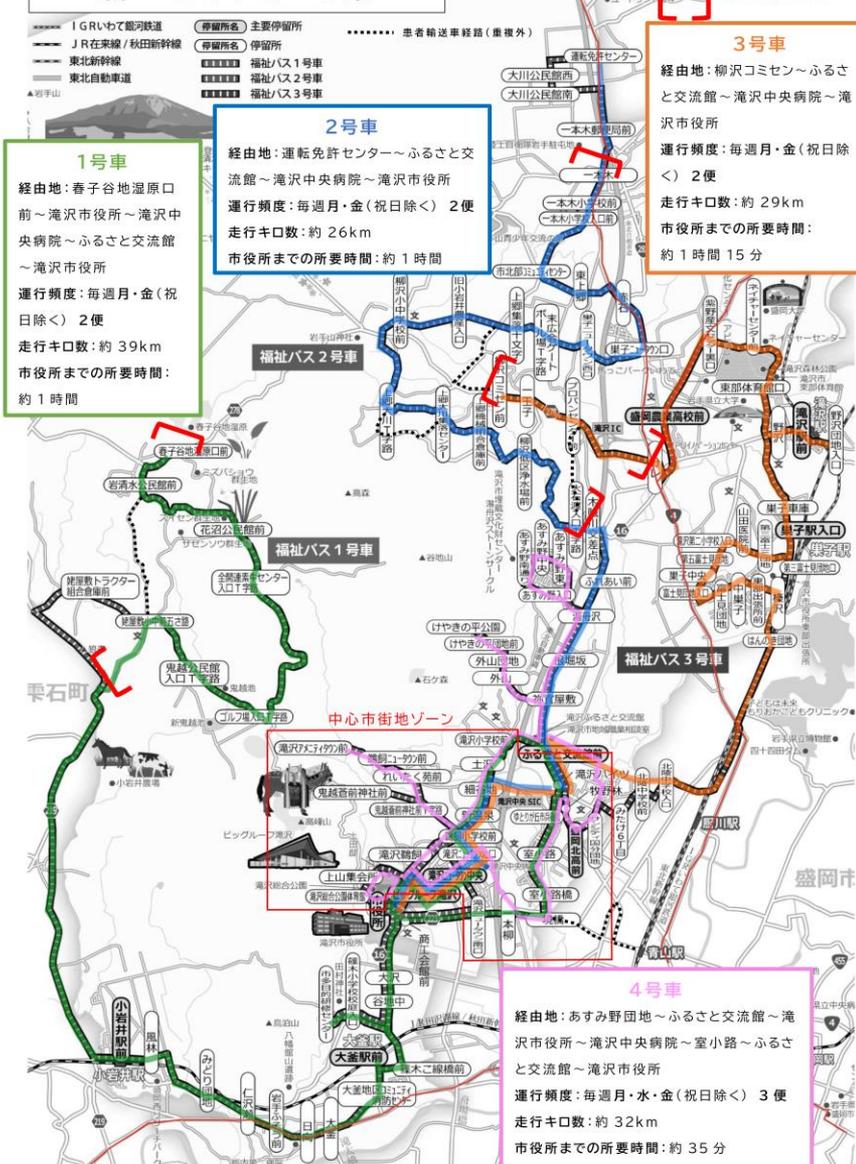
運行日・運行本数・ダイヤ

- ・1～3号車：陸大学に対応し、現行の福祉バスの運行日である毎週月・金曜日の週2回運行。午前1便午後1便の2便を設定。ダイヤは陸大学開催時間に合わせて設定。
- ・4号車：買い物需要等を想定し、毎週月・水・金曜日の週3回運行。午前2便・午後1便の3便を設定。
- ・土日祝の市内イベント（滝祭等）開催時に全4系統で臨時便の運行を検討。

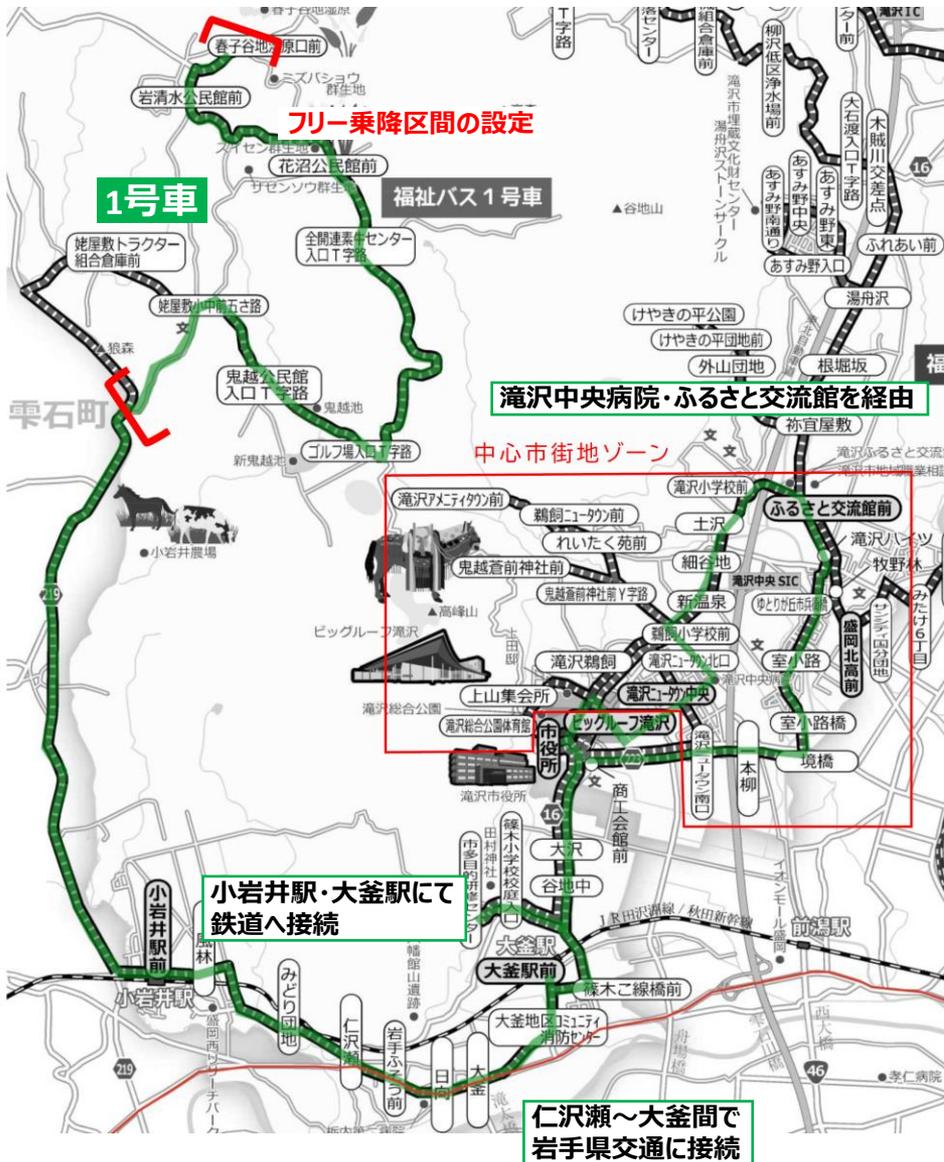
運賃

燃料高騰等の状況を踏まえ、現運賃より値上げを行う（中心市街地ゾーンの設定）。また、免許返納者に対する割引制度の導入を検討する。

新コミバス ルート案



1号車の運行ルート



【見直し箇所】

- 利用のない区間の経路変更、フリー乗降区間の設定
- 患者輸送バス利用状況を考慮し、滝沢中央病院や医療機関が点在するバス停（滝沢ハイツ等）の経由
- 青山方面の医療機関は、滝沢市役所にて乗り継ぎ（ビッグルー滝沢発路線バスで青山方面）

想定利用者数

項目	想定利用者数
睦大学通学利用者	3人/便
患者輸送車利用者	2人/便
新規利用者	α人/便
合計	5+α人/便

1号車 路線概要

運行区間 春子谷地湿原口前～滝沢市役所（構内）

経由地 小岩井・大釜駅前、多目的研修センター、滝沢中央病院、ふるさと交流館

路線延長 約39km（現行1号車：40.4km）

市役所までの所要時間 1時間00分程度（現行1号車：1時間20分）

乗り継ぎ JR田沢湖線（小岩井駅、大釜駅）
岩手県交通（仁沢瀬～大釜、滝沢市役所等）

2号車の運行ルート

バス1号車
バス2号車
バス3号車



【見直し箇所】

- 利用のない区間の経路変更、フリー乗降区間の設定
- 自衛隊正門前～木賊川交差点間にフリー乗降区間を設定
- あすみ野団地・外山団地を経由しないことによる運行時間の短縮
- 患者輸送バス利用状況を考慮し、滝沢中央病院や医療機関が点在するバス停（滝沢ハイツ等）の経由

想定利用者数

項目	想定利用者数
睦大学通学利用者	2人/便
患者輸送車利用者	2人/便
新規利用者	α人/便
合計	4+α人/便

2号車 路線概要

運行区間 運転免許試験場～滝沢市役所（構内）

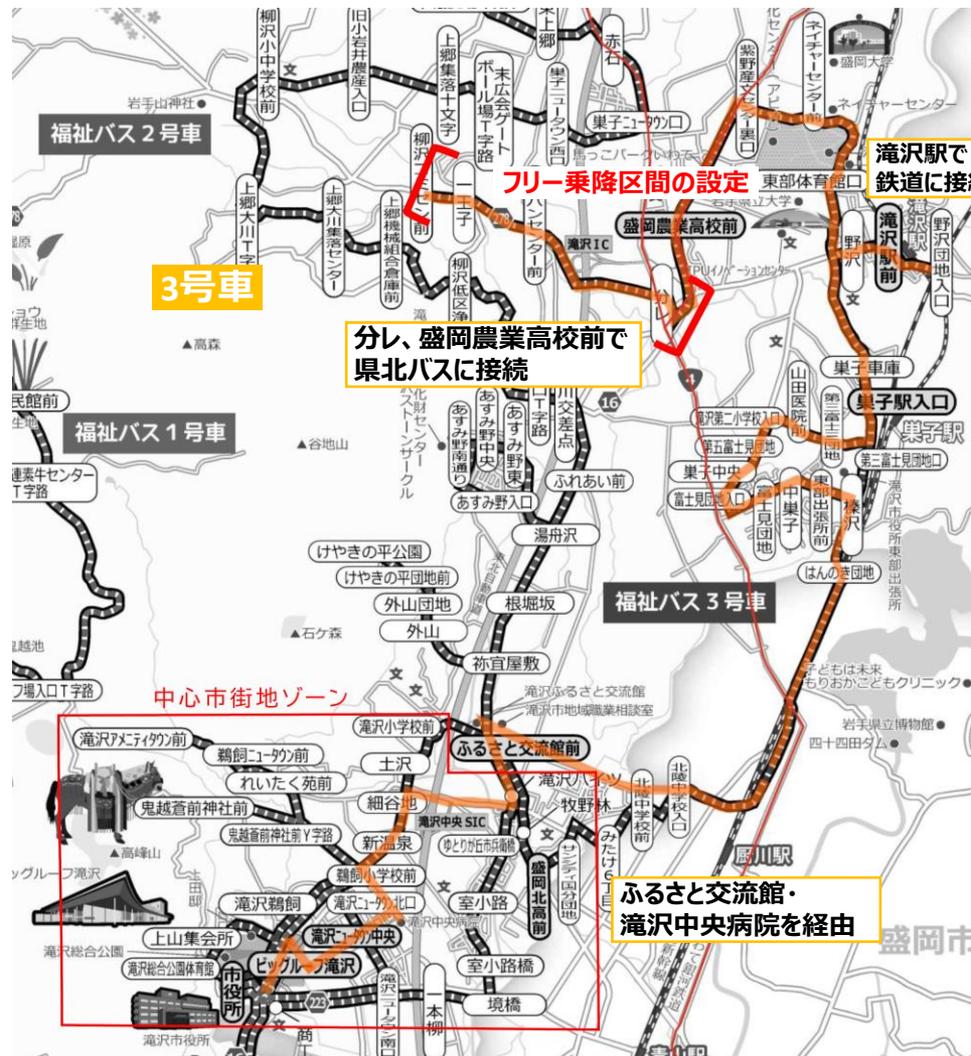
経由地 一本木、柳沢小中学校前、ふるさと交流館、滝沢中央病院

路線延長 約26km（現行2号車：38.4km）

市役所までの所要時間 1時間程度（現行2号車：1時間31分）

乗り継ぎ 県北バス（運転免許試験場～一本木小学校前等）
岩手県交通（ふるさと交流館、ビッグブルー滝沢等）

3号車の運行ルート



【見直し箇所】

- ・柳沢コミセン前～分れ間にフリー乗降区間を設定
- ・滝沢営業所を經由し、はんのき団地～ふるさと交流館～ビッグルーフ滝沢の経路見直し
- ・患者輸送バス利用状況を考慮し、滝沢中央病院や医療機関が点在するバス停（滝沢ハイツ等）の経由

想定利用者数

項目	想定利用者数
睦大学通学利用者	7人/便
患者輸送車利用者	2人/便
新規利用者	α人/便
合計	9+α人/便

3号車 路線概要

運行区間 柳沢コミセン前～滝沢市役所（構内）

経由地 盛岡農業高校、滝沢駅、富士見団地、ふるさと交流館、滝沢中央病院

路線延長 約29km（現行3号車：34.9km）

市役所までの所要時間 1時間15分程度（現行3号車：1時間20分）

乗り継ぎ IGR岩手銀河鉄道（滝沢駅）

県北バス（分れ、盛岡農業高校前 等）

岩手県交通

（中巢子、滝沢営業所、ビッグルーフ滝沢 等）

4号車の運行ルート

【路線設定】

- ・滝沢市役所の周辺に点在する住宅地・団地を經由し、滝沢中央病院や中心拠点商業地区への移動を担う
- ・今後想定される住宅地や団地等での路線バスの減便を補完し、最低限の日常移動を担う

想定利用者数

項目	想定利用者数
睦大学通学利用者	9人/便
患者輸送車利用者	-
新規利用者	α人/便
合計	9+α人/便

4号車 路線概要

運行区間 あすみ野団地～ふるさと交流館
～各団地を循環～滝沢市役所（構内）

経由地 上の山団地、滝沢アメニティタウン、
けやきの平団地、せいほくタウン、国分団地、
ゆとりが丘、室小路、滝沢中央病院

路線延長 約32km

**市役所までの
所要時間** 35分程度

乗り継ぎ 岩手県交通

（滝沢市役所、ふるさと交流館、ビッグルーフ滝沢 等）

